


てらこや便り わあい♪ 2025. 3. 5 No. 111

糍作りに味噌作り。年々楽になっている！きっと子どもたちもスタッフも経験を積んできているからだ。大きい子たちが慣れた手つきで動く。今年は夏のサバイバルキャンプで前借りした醤油にもチャレンジ！（サバイバルキャンプの食材は自分たちで得た物のみ使える）そんな先日のミーティング。緑大が「ぼん酢を作りたい！」みんなが「いいね、サバイバルキャンプで使える！」「え、待って。酢ってどうやって作るんだ？」「そういえば油とかも・・・？」「うわあーもういいよ。面倒くさい」といつつやり始めたら目をキラキラさせる人が多いことを私は知っている。笑。チューリップも伸びてきた。いよいよ春。旅立ちの春。会の準備が始まり、みんなの思いがゴールに向かっていく。

日	月	火	水	木	金	土
2	優月8歳♪3	4	5	翔馬7歳♪6	16:00 完鈴校7 科学実験教室 OBお話し会	8 百人一首 広島交流会
	味噌づく	り週間				
9	10	11	12	○13 周防大島縦走	14	15 おひさま ミーティング
	大そうじ	週間				
16	17	18	19	春分の日 第7回 旅立ちの会 20	21 年度末15:10 てらこやカフェ	22 おひさま ミーティング
23	24	あかり8歳♪25 1~5年生 「大きくなったね ♪」の会	26 春休み ~4月7日	27 おうちえん 旅立ちの会	3月 	

○今月のおむすびの日6日(木)

○今月のお弁当の日13日(木)

*青字・・・誕生日♪

4月8日(火) 新年度スタート♪新2~6年生
4月9日(水) はじまりの会♪ 新1~6年生

21日のてらこやカフェはみなさんが最後までいられるように、15時10分スタートでやってみます。

◆♪*...◆♪*... ◆ スタッフと「おひさまミーティング」 ◆♪*...◆♪*... ◆

日にち：3月15日(土)・22日(日)
時間：1家庭、目安20~30分程度
参加スタッフ：あつつん、きく、しょうた、ふっくん、まあみん

*掲示板に貼ってある表に、希望の日時を記入してください。(メールや口頭も可)
~記入期間 3月7日~13日 ~

子どもたちはこれからの未来をつくる種。それぞれのおうちに、てらこやという場に、その大事な種がまかれました。わたしたち大人はおひさま。種にはなくてはならない存在。種がいきいきと育つことをばかばかとあたたく見守ります。てらこやでの様子、おうちでの様子、これからのこと、今、気になっていること、新たな気づき、発見したこと等々、自慢話も大歓迎！！目の前にあるわたしたちの大切な種、そしてともに生きる仲間である子どもたちのこと、お話しましょ♪

◆♪*...◆♪*... ◆

よしみさん's essay

◆♪*...◆♪*... ◆

この原稿は本当は去年のうちに書く予定だったんだけど、キッチンに入る日があまりにも少なく子供達とも関わる事がなさ過ぎて、書く内容も考えつかないなあとわがままな言い訳を言ってまあみんに先送りにしてもらって今回となった。で、改めて何を書こうか考えたのだけれどやっぱり思い付かず、なかなかエンジンがかからず締切の日が近づいてきている(汗)と言いつつ締切もギリギリ！いや若干過ぎている。。今までこんな事ななかつたんだけどなあ。いや、思い当たる事が有る！つい最近までの私は、分かっているのに気づかないようにその事から目を背けていた。何かって？更年期による変化！身体はもちろんだけど、思いの外心がコントロール出来なくて戸惑っている。日によって理由もなく気持ちの上下の差が大きく、とくに下がったのを上げる事がどうしても出来なかったり、何だか無性に不安な気持ちになったり、そんな日々が続くと気づかないふりも限界。気づいたら気づいたで今度自分の中で、どうした私！頑張れ！って抗って、それでもどうしようもなくやっぱり落ち込んでしまう日を繰り返し過ごしていた。これは自分の問題、とひとり抱え込んで、どうにかしないと、でもどうにもならないーともがいていた時、丁度おうちえんのスタッフミーティングがあって、その時に思い切って言ってみた。状況は変わらないけど心がすこし軽くなった。言えて良かった、ひとりで一生懸命抱えていたせいで身体も心もギュッと固まっていたんだな。何より今の私を伝える事によって、受け入れて貰えた実感が持てただけで前に進める気がしてる。歳を重ねてもまだ尚新しい自分に出会う、そしてどうして良いかわからなくなる！そんな今のわたしがここにいます。そして成長著しい子供たちも同じような現象(自分でコントロール出来ない)の思春期というのに向き合わないといけない。きっと自分の変化に戸惑い立ち止まったりするだろうけど、信頼する仲間がいる事で安心して進める日が来る事を、気持ちを寄せつつ見守って行きたいとあらためて思った更年期真っ只中の私です。

よしみ